

<p>芸術・スポーツ</p>	<p>【代表的な研究テーマ】</p> <p>□ 障害児者のための音楽教育センターの創設と運営 ～滋賀大学教育学部附属音楽教育支援センター「おとさぼ」～</p>
<p>key word</p>	<p>課題解決に役立つシーズの説明</p>
<ul style="list-style-type: none"> ■ 音楽教育 ■ アウトリーチ ■ 障害児者 ■ 社会貢献 ■ ダイバーシティ 	<p>SDGsやダイバーシティが謳われる現在、滋賀大学では、篤志により教育学部に附属音楽教育支援センター(愛称:おとさぼ)を創設し、障害児者の音楽教育や音楽活動の支援事業を2021年度から本格的に開始した。おとさぼは、全国でも珍しい、障害児者を対象とする音楽教育に特化した大学附属のセンターであり、スタッフは音楽教育や障害児教育等の専任教員11名とセンター専任教員1名の計12名から成る。藤村泰子記念基金をベースに寄附や助成、事業収入によって運営されている。障害児者が生涯にわたって音楽を楽しむことができるよう、活動や場を提供すること、障害児者の音楽教育について、先端的な研究やプログラム開発を実施し、国内外に発信することを目的としている。</p> <p>センターの事業は、①アウトリーチ事業、②インリーチ事業、③指導者講習会・ワークショップ、④先端研究・パイロットプログラムの4つの柱から成る。</p>
	<p>① アウトリーチ事業</p> <p>滋賀県内の特別支援学校(13校)、高等養護学校(4校)に、音楽教育支援センター所属教職員や依頼した音楽家を派遣して、音楽教育プログラムを提供する。学校だけでなく、障害福祉サービス事業所、放課後等デイサービスなどにも出向き、音楽活動を支援している。また学校の希望に応じて楽器の貸し出し、授業や行事の支援も行っている。</p>
<p>林 睦 Mutsumi Hayashi</p>	<p>② インリーチ事業</p> <p>大学の音楽棟内の教室を改装しておとさぼ専用のセッションルームを開設、そこで障害児者が音楽教育プログラムに参加したり、音楽活動を楽しんだりできるようにしている。センター専任教員(音楽療法士)等による音楽療法のセッション、センター所属教員、依頼した音楽家によるワークショップやアートプロジェクトなどを実施している。また、障害児者のためのピアノや音楽療法の教室も運営している。(教室は有料で月謝制)</p>
<p>教育学部 教授</p>	<p>③ 指導者講習会・ワークショップ</p> <p>音楽療法や音楽教育の指導者向け講習会・ワークショップを開催し、障害児者の音楽教育の充実や広がりにも寄与する。</p>
<p>【プロフィール】 専門分野:音楽教育 1992年 東京藝術大学 音楽学部楽理科卒業 1994年 東京藝術大学大学院 音楽研究科修士課程修了 2003年 大阪大学大学院 文学研究科博士課程修了 (音楽学) 2005年 滋賀大学教育学部 講師 2006年 滋賀大学教育学部 准教授 2014年 滋賀大学教育学部 教授 2021年 滋賀大学教育学部 附属音楽教育支援センター長</p>	<p>④ 先端研究・パイロットプログラム</p> <p>大学附属センターとして、障害児者の音楽教育、音楽療法等についての先端研究、パイロットプログラムを実施し、研究成果を国内外に発信する。</p>
<p>【主な社会的活動】 主な研究業績は音楽のアウトリーチ活動の概念を輸入し、普及したこと。 2020年に教育学部に設立された附属音楽教育支援センター「おとさぼ」のセンター長として、特別支援学校や特別支援学級、障害福祉サービス事業所の音楽活動の支援に携わっている。企業や自治体と連携して、共同研究や音楽教育プログラムの企画・制作・コーディネート等も行っている。障害児者の音楽教育によって滋賀大学の社会貢献に寄与したとして、2021年度滋賀大学学長賞受賞。 E-mail: hayashi@edu.shiga-u.ac.jp</p>	<p>なお、活動の実質的な初年度となる2021年度は、21事業に1,081名の参加があった。今後は、障害児者を対象とした音楽教育や音楽療法の拠点となるべく、自治体や企業との連携や共同研究を進めていきたい。</p> <p>※事業の詳細は、おとさぼホームページで https://otosapo.com</p> <div data-bbox="890 1413 1445 1816" style="border: 1px dashed black; padding: 10px;">  </div> <p>企業・自治体へのメッセージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害児者のための音楽教育プログラムについて、現在、滋賀県とのプログラム開発を行っておりますが、国や他の自治体との連携も希望しています。 ・複数の企業から助成を頂いておりますが、今後は、障害のある方のための音楽レッスン用の楽譜やレッスングッズなど、企業との共同開発、共同研究を希望します。